

2022年4月3日 主日礼拝賛美歌

●『讚美歌』 67番

1. よろずのもの とわにしらす み父よ
今恵みを くだしたまえ 御名をほむる われらに
2. 人となりし 救いの御子 主イエスよ
ときつるぎの 御言葉もて 示したまえ まことを
3. いとも強き 慰めぬし みたまよ
わが心を おさめたまえ 今よりのち はなれで
4. 三つにまして 一人にます
み神よ 御名のさかえ ほめたたえて
とこしなえに したがわん
アーメン



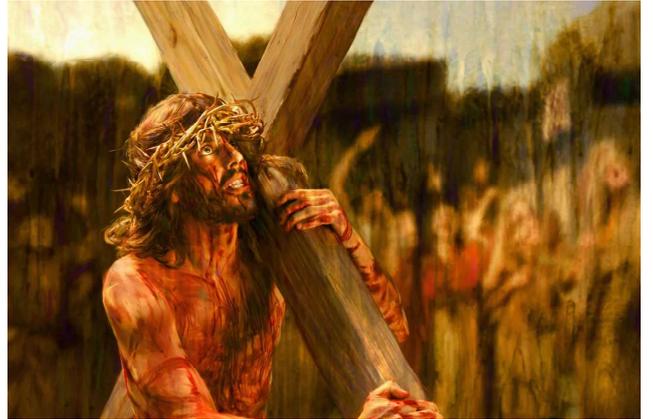
●『讚美歌』 448番（1、3節）

1. み恵みを身にうくれば われらも今は強し
み力によりたのみて みいくさの先に立たん
いざ進め たゆみなく いざ歌え 声高く
御言葉に従いて われらも今は強し
3. きよからぬ思いを去り ただ主のみむね学ばん
真心をこめて仕え 御国をば世にきたさん
いざ進め たゆみなく いざ歌え 声高く
御言葉に従いて われらも今は強しアーメン



●『讚美歌21』290番

1. 踊り出る姿で主イエスは
神が全て造られた日も
飼い葉桶に生まれた夜も
喜びを告げた
(くりかえし) おどれ輪になって
リードする主と共に
福音の喜びへと
招かれた者はみな



2. 網をつくろうペトロたちは 全て捨ててイエスに従い
ねたむ学者の目を退け 主の弟子になった
3. きよい安息日に主イエスは 歩けない人立ち上がらせ
律法やぶると責められても 御心に生きた
4. 暗い雲が光を閉ざし 神の御子が釘づけられて
悪が力をふるう中も 御業は進んだ
5. 重い墓石をもけやぶり 朝の光照り輝いて
おどりの主イエスはよみがえり 初穂となられた
アーメン



●『讚美歌21』25番

1. 父・子・聖霊に みさかえあれ
はじめにありて 今もあり
とわにいます主をたたえん
アーーーーーメン

